

平成 30 年度 ブライトハウス住吉 事業計画

事業名 就労継続支援事業B型

定員 40名

内容 配食サービス、施設外就労（宮崎食研）

職員	管理者	岩下博子
	サービス管理責任者	藪田豊
	生活支援員	横山岳史（精神保健福祉士）
	職業指導員	藤坂希満（調理師）
		惣土佳宏（調理師）
		岩切健二（調理師）
		矢野将司（調理師）
		淵田郁子（非常勤）
		市野瀬泉（非常勤）
		藤田さとみ（非常勤）
		赤木信明（非常勤）
		西 瀬戸（非常勤）
	目標工賃達成指導員	宮元祐子（栄養士）
	事務員	濱砂清美（非常勤・各事業所事務）

- ・工賃向上計画・・・時給 470 円→475 円として一人平均 25,000 円以上を目指す
- ・売上目標を 29 年度実績予想額より、40,000,000 円とする
- ・従来の配食弁当に加えて行事弁当の販売を促進する。
- ・個別計画のさらなる充実を求める。利用される方の生活の質の向上を目指して支援していく
- ・宮崎市糸原にある宮崎食研株式にて施設外就労を行っており、作業の受け入れや利用者の方の満足度も高いが、作業工賃が少し低いため、別の会社で施設外就労の受け入れをして下さる企業を探していく。
- ・レクリエーション企画：7月（バーベキュー）、12月（忘年会）、3月（お花見）、
- ・実習生の受け入れ：宮崎南学園精神保健福祉学科、宮崎看護専門学校、宮崎大学医学部看護学科、その他社会福祉士実習、精神保健福祉士実習等
- ・職員研修・・・施設外並びに施設内研修の強化

樹樹 平成30年度事業計画

事業名	就労移行支援事業		
定員	20名		
内容	バイキングレストラン		
職員	管理者	岩下 博子	
	サービス管理責任者	竹島 直伸	
	就労支援員	石田恵美子	
		松田 留美	
		坂元真奈美 (非常勤)	
	生活支援員	古川 雄大	
	職業指導員	吉田 雄二	
		黒木 真理	
		松坂久美子 (非常勤)	

- ・年間就職定着者数目標 10名以上 (6ヶ月以上の就労定着が事業所定員の半数)
- ・月間目標利用者数 平成30年4月375名から始まり、平成31年3月には月間600名を目標とする。

【事業環境の大きな変化】

平成30年度からの報酬改定において、これまでの報酬から大きな減額が決まっています。これは、事業形態ごとの報酬減も影響していますが、それ以上に昨年度の就労の定着を上手く出来ず、実績が悪かったことが大きく影響しています。これは私達の努力不足、力量不足であり、反省しております。

そのため、4月からはマンパワーの強化を図り、支援の実践を積み重ねていくこと、これまでのレストランでの訓練以外に新たな支援の形を改革することで、経営の安定を図ることに、全員一丸となって努力していきます。

【新たな施策】

- ・4月より月曜日から土曜日までの午後3時から午後5時までの時間帯で、これまで樹樹で提供してきた就労訓練とは別に、PCトレーニングやグループトレーニング、就活トレーニングを組み合わせた個別カリキュラムを提供することを予定しています。これにより、これまでの樹樹では提供出来なかった幅広い訓練ニーズを充足させていきます。それに伴い、これまでではレストランの店休日と同じで水曜日を定休としていましたが、水曜日にも個別カリキュラムを提供するため、事業所を開ける予定です。

- ・個別計画のさらなる充実を求める。利用者の生活の質向上を目指して支援する。
- ・実習生の受け入れ
- ・職員研修・・・施設外並びに施設内研修の強化。

- ・工賃額、食費、保険料について金額を以下のとおり変更する。

	平成29年度	平成30年度
工賃	480円	480円
食費	150円	150円
保険料	194円	270円

【物販および製造物販】

物販および製造物販・・・・・・・・・・年間156万円（平均13万×12ヶ月）

- ・手作りの雑貨（手作り人形、造花、スタイ、キャンディ他）を原価30%以内に抑えながらも、バラエティを増やしていく。
- ・4月は入学と卒業、5月はこどもの日などがあるので、季節イベントごとに製品を作る。イベントのない月はオールシーズンで使える物を販売していく。
- ・農家から安く野菜を仕入れると共に、販売にも力を入れる。そのためには農家との関係をより作っていく。また、樹樹にしか置いてないものを集めて販売するなどを行っていく。

【レストラン】

- ・レストランの赤字も予想されています。レストランにおいても人事強化を図り、全員で目標達成へ向けて努力して参ります。
- ・現在月180万円を200万円が安定して売り上げられるようにしていく。
年間2400万円を目標とする。
- ・祭り、イベントなどへ出店する。

【こども食堂】

東大宮地区社会福祉協議会と協力して年数回、実施していきます。目的が地域の福祉に関わる事であり、収益を上げることは計画しておりません。プレミアム親子食堂についても同じく東大宮地区社会福祉協議会と協力して実施していきます。

【認知症カフェ】

毎月第2水曜日の13時30分から15時30分で、宮崎市が推進している「宮崎市認知症カフェ等推進事業」に協力し、その開催場所を提供しております。

次年度も継続し、場所の提供を行って参ります。

契約自治体 宮崎市、西都市、新富町、高鍋町

- 契約事業 1 障害者相談支援事業（基本相談・計画相談・障害児相談）
ご本人及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供を行う。
必要に応じて、職員間での協議又は医療・福祉機関、行政機関その他の関係 機関との連絡調整を実施する。
- 2 社会復帰支援事業（地域活動支援事業）
○創作・生産
当事者間の相互交流・相互理解を図り、当事者の主体性を育むことを目的とする。「つどい」や「生け花、クラフト、手芸等教室」、「音楽サークル」、「昼食会・おやつ会・外出レクリエーション」等のプログラムを提供する。文化や芸術に触れる機会を提供する。
○社会との交流
社会との交流の機会を幅広く提供し、社会参加を促進することを目的とする。精神科病院との交流ミニバレーに参加する等、積極的に交流の機会を提供する。
○ピア活動支援事業
ピア（仲間）による相互支援活動やピアスタッフ相談を行う。
「はじめの一歩くらぶ」や「すみカン」「SLB」などの当事者主体の活動プログラムを運営実施する。
- 3 地域相談支援
入院・入所されている方の地域への退院・退所や、安心して地域生活を送れるよう支援を行う。
- 4 地域社会基盤等との連携強化事業
夏祭り、文化祭等、研修会の地域事業への参加をするなど、積極的に地域住民の方たちとの交流を図る。

■委託費・報酬費等

- 計画相談件数：250 件（障がい者・障がい児・地域移行定着の合計数）
- 計画相談報酬見込み額：9,350,000 円（障がい者・障がい児・地域移行定着の合計数）
- 宮崎市委託費（見込み）：26,700,000 円
- 西都市・高鍋町・新富町委託費計（見込み）：950,000 円

- 開所日 平日：8時半から17時15分
土曜日：8時半から17時15分
- 閉館日 日曜、祝日、年末（12月29日～1月3日）

平成30年度 日向の杜
事業計画書(案)

利用定員(1日) 多機能型において、児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業
の利用定員は、合計10～13名(125%まで)とする。
*児童発達支援事業 8名(1日)
*放課後等デイサービス事業 5名(1日)

開所日 月曜日から金曜日
ただし、12月29日から1月3日と国民の祝日を除く
また、上記開所日以外でも、必要に応じサービスの提供を行う。

開所時間 午前8時30分から午後6時までとする

サービス提供時間 児童発達支援事業 午前9時30分から午後2時30分まで
放課後等デイサービス事業
通常日 午後1時30分から午後5時30分まで
休業日 午前9時から午後4時30分まで

職員名簿ならびに職種

管理者	岩下 博子	(常勤・兼務)
児童発達支援管理者	溝部 絵美	(常勤・兼務)
児童指導員	野邊 紗耶加	(常勤・兼務)
保育士	甲斐 康奈	(常勤・兼務)
児童指導員	長谷部 祐子	(非常勤・兼務)
保育士	岩切 美喜	(非常勤・兼務)
児童指導員	本田 藍子	(非常勤・兼務)
保育士	福谷 智穂	(非常勤・兼務)

年間行事 別添参照(児童)
・宮崎県児童発達支援施設等連絡協議会 職員研修会
・宮崎県児童発達支援施設等連絡協議会 圏域研修会(宮崎市)
・全国障害者問題研究会全国大会 I N宮崎(職員研修)
・全国発達通園事業連絡協議会全国大会 I N秋田(職員研修)

環境整備 外庭整備 年3回

こぐまクラス
の
目的

○生き生き（食べること・あそぶこと・ねむること）
○人に対して開かれた心（親子通園することで安心感の基盤づくり）
○仲間を信じ、自分の可能性を信じる心（仲間を信じ、自分を信じる心を育てる）の獲得を目指します。

ねらい	あそび	行事
4 親子で身体をふれあいがら身体を知る。 身体の上台をつくるあそびを取り入れる。	種まき・草むしり 花摘み・鑑賞	家庭訪問（その期間は午前保育） あそぼう会 家族遠足（お父さん参加型 土曜日開催 4月末～5月中旬予定） 歯科検診 プール・水あそび始まり
5 親子でふれあい、人とかかわりたい気持ちを引き出す。 親子で身体を十分に動かす。	感覚チャージあそび（小麦粉・寒天・紙・布・絵の具・水・砂 他）	水あそび・プール・避難訓練 8/13（月）～15（水）盆休み
6 自分でできることを実感する。	身体土台あそび（巧技台・外あそび・揺れあそび・バランスあそび）	あそぼう会（9/1土開催お父さん参加型） 水あそび納め
7 全身で感覚を味わうあそびを通して、身体づくりをする。	ざくらんほりすも・たいそう・うたあそび・絵本・券こつ	秋の遠足・避難訓練
8 異年齢児との関わりの中でやってみようとする気持ちを高める。	種まき・収穫 草むしり・花摘み・装飾	12/26（火）クリスマスお楽しみ会・大掃除
9 身体を支える筋肉やバランス機能を身につける。 大好きな大人にできたところを認めてもらう。	プール（室内） / 身体土台あそび	1/4（金）初詣・書初め
10 身体を十分に動かしたいいろいろな動きのあるあそびを楽しむ。		2/2（土）あそぼう会（土曜日開催・お父さん参加型） 避難訓練・おひなさまお楽しみ会・お別れ遠足 ・3/29（金）退園式
11 親子で友だちや大人とできた！を一緒に体感する。		
12 自信を持って自分ができることを表現する。 できた自分を親子で認め合う。		
1 友だちとのやりとりを通して、折り合う力を身につける。 親子で達成感を味わい自信につなげる。 手先を使った活動に挑戦する。		
3 生活の見通しができ、自信をもって生活をできる。 自分の気持ちを身近な大人に発信できる。		

♡親子通園する際の親さんの役割♡
○子どもの気持ちにたっぷり応えます。（子どもの気持ちをわかろうとすること、できるまで待ってみます）
○子どもたちにとってもモデルになります。（一緒に園生活を営む、遊び込むこと）
○社会のルールを身につけます。（だれかにヘルプを求めたり、相談する力）
○リフレッシュすることも大切です。（食事会・預かり利用・お勉強会）

おひさまクラ
スの
目的

○安心して居場所づくり（自分自身を大切にされ、大切にすることを知る）
○生活力・社会性（生活技術の具体的な方法の獲得）
○仲間づくり（人と関わるための術を知り、仲間を思いやる心を育てる）
◎自分がされて嫌なことを友だちにしないことを全員の約束ごととします。

ねらい		活動		行事	
4	<ul style="list-style-type: none"> 学校での新しい環境の中で、改めて生活のリズムを整える。 身体を十分に使う活動に取り組む。 土や水に触れ心地よさを感じながら、草花への興味を深める。（期待感） 自分を知る。 仲間に興味を持つ。 	掃除・食器洗い・裁縫・クッキング	身体土台づくり（リズム・踏ん張り・ウォーキング・マラソン・バランソ）	感覚あそび（手先・身体全体・筋肉）	こなしあそび / 慎重あそび / まとめてなまきあそび
5	<ul style="list-style-type: none"> 大人の仕事に興味を持ち、やってみようとする。 暑さに負けず、身体を動かす。 収穫への期待をしながら、草花に触れ、育てることの大切さを知る。 自分のことと友だちのことがわかる。 				
6					
7					
8					
9					
10					
11	<ul style="list-style-type: none"> 自分の主張、友だちの主張を大切にしながら、折り合う力も身につける。 できた！達成感を仲間や周りの大人と喜び合う。 友だちと自分の違いがわかる。 				
12					
1	<ul style="list-style-type: none"> 自分のできる仕事に自信持って取り組み、仲間でできたことを認める。 マイナスな自分もプラスな自分も認め、大切にできる気持ちを持つ。 友だちが知っている自分を認め、仲間を認める。 				
2					
3					

種まき		製作		種まき	
～4/5 (木) 春休み 遠足・園外活動					
家庭訪問					
あそぼう会（家族参加型・土曜日開催）					
7/23 (月)～夏休み 園外活動・水あそび・プール					
避難訓練・園外活動・水あそび・プール					
祖父母へプレゼント製作					
10/5 (金)～10/9 (火) 秋休み 避難訓練・遠足					
あそぼう会（家族参加型・土曜日開催）					
12/26 (水)～冬休み クリスマスお楽しみ会・大掃除					
～1/4 (金) 冬休み 初詣・書初め					
豆まき					
3/26 (火)～春休み お別れ遠足・避難訓練・リーダー選出選挙					

平成 30 年度 穂っと穂っと 事業計画

事業名 就労継続支援事業 A 型、就労継続支援事業 B 型

定員 A 型：10 名、B 型：10 名 計 20 名

内容 洋菓子製造・販売、イートイン

職員	管理者	岩下博子
	サービス管理責任者	赤星里枝
	A 型職業指導員	黒木 旭 (パティシエ)
	〃	中島洋子 (販売)
	A 型生活支援員	森下留美 (調理師)
	賃金向上達成指導員	武田優樹 (調理師)
	B 型職業指導員	渡邊洋一 (和菓子)
	〃	大坪真弓 (販売)
	〃	甲斐由紀子 (販売)
	B 型生活支援員	安東やよい (洋菓子)
	目標工賃達成指導員	河野敏和 (調理師)

- ・ B 型工賃向上計画・・・時給 470 円→475 円として一人平均 25,000 円以上を目指す
- ・利用者の食事料金負担額、150 円に変更なし。
- ・利用者の傷害保険料が、137 円 → 141 円 に変更。
- ・個別計画のさらなる充実を求める。利用される方の生活の質の向上を目指して支援していく。
- ・レクリエーション企画：4 月 (ミーティング・食事)、7 月 (バーベキュー)
12 月 (忘年会)
- ・職員研修・・・施設外並びに施設内研修の強化